

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	百舌鳥古墳群等管理事業				事業番号	008-094	
担当部署名	文化観光局	局	歴史遺産活用部	部	世界遺産課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(1)世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出	
			有	取組の方向性	①百舌鳥古墳群の保全・継承とゲートウェイ機能の強化				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	大仙公園エリアへの来訪者数				
	有		現状値	29.4万人(2019年度)		目標値	60.0万人(2025年度)		
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.4	
			有	取組	百舌鳥古墳群の保全				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	

2	関連計画	史跡百舌鳥古墳群保存活用計画 史跡百舌鳥古墳群整備基本計画（第2期）		
3	事業開始年度	令和 2 年度	点検対象年度（個別計画）	令和 16 年度
4	実施根拠	文化財保護法		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	本市が所有する古墳、史跡黒姫山古墳歴史の広場	対象数	単位
			—	—
7	事業の目的	本市が所有する古墳と史跡黒姫山古墳歴史の広場を適切に維持管理し、さらに整備・活用することによって、歴史文化資源を活かした都市としてのアイデンティティーを確立し、本市の魅力向上を図る。		
8	事業内容	○ 百舌鳥古墳群等の維持管理 ・所管する古墳や史跡黒姫山古墳歴史の広場の除草・樹木剪定や修繕等、維持管理を実施した。 ○ 百舌鳥古墳群の整備 ・史跡百舌鳥古墳群整備基本計画（第2期）に基づき、寺山南山古墳の整備に向け、現況測量と基本設計を実施した。 ・百舌鳥古墳群の周遊の起点であるJR百舌鳥駅前に、古墳群の解説および周遊案内をわかりやすく示した総合案内板を設置した。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容			
9	主な支出先	委託業務の受注業者		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	所管する古墳の適切な維持管理	基		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和16年度
			目標値	10	10	10	10
			実績値	10	10		
			達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		適切な維持管理を行うことにより、古墳の保存や来訪者への価値伝達を促進させるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		所管する古墳の数					

12	活動指標	単位		実績		目標	
	整備する古墳の数	基		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	2	2	2	
			実績値	1	1		
			達成率	50%	50%		
当該指標を選定した理由		古墳の整備は歴史文化資源を活かした都市としての本市の魅力向上に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		整備基本計画に位置付けられる古墳の数（R6まで：第1期整備、R7以降：第2期整備）					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		百舌鳥古墳群等管理事業				事業番号		008-094			
Ⅲ. 投入量											
事業コスト											
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）											
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			決算		決算		当初予算		当初予算		
		事業費（a）	24,578		126,523		36,884		36,496		
		国支出金	467		30,808		3,500		2,934		
		府支出金	0		0		0		0		
		市債	2,200		47,500		3,800		2,000		
		その他（寄附金、基金繰入金）	2,256		48,215		6,900		31,562		
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0		
		一般財源	19,655		0		22,684		0		
		14	人件費（b）	39,780		30,200		31,220		31,220	
15	年間経費（c）=（a）+（b）	64,358		156,723		68,104		67,716			
事業費の内訳											
（単位：千円）											
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		所管古墳環境整備業務委託料	R7	決算	13,622	0	長塚古墳環境整備業務	R7	決算	0	0
			R8	予算	14,300	0		R8	予算	2,000	0
		黒姫山古墳歴史の広場管理業務委託料	R7	決算	2,721	0	「堺の文化財百舌鳥古墳群」改訂業務	R7	決算	0	0
			R8	予算	3,117	0		R8	予算	1,672	22
		寺山南山古墳基本設計業務委託料	R7	決算	4,969	0	黒姫山古墳歴史の広場環境整備工事	R7	決算	0	0
			R8	予算	0	0		R8	予算	4,000	400
		百舌鳥古墳群総合解説板設置工事	R7	決算	1,491	0	会計年度任用職員報酬	R7	決算	5,379	0
			R8	予算	0	0		R8	予算	5,997	0
		黒姫山古墳ガイダンス施設LED更新工事	R7	決算	1,285	0	その他経費（消耗品費、手数料など）	R7	決算	7,029	0
R8	予算		0	0	R8	予算		5,361	3,908		
Ⅳ. 事業の効率性											
単位当たり経費											
17	①	所管する古墳の数			単位	令和6年度		令和7年度			
	②	上記①にかかる年間経費			千円	156,723		67,716			
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位	15,672,300		6,771,600			
	算出についての説明等										
Ⅴ. 評価											
費用対効果に係る所見											
18	令和6年度は、御廟表塚古墳整備工事のほか高額な工事が重なったことにより、年間経費が増加した。一方、令和7年度は高額工事の減少に伴い、年間経費は大幅に減少した。 黒姫山古墳歴史の広場ガイダンス施設LED更新工事では、LED化により、今後の電気料金の低減につながるものと評価できる。										
	KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）										
19	令和7年度は、所管する古墳に対して適切な維持管理および環境整備を行い、その価値を伝える取組を進めることができた。 具体的には、長塚古墳や文珠塚古墳等において、倒木による墳丘の毀損や隣接地への被害を防ぐため、墳丘上の高木を伐採した。 また、百舌鳥古墳群の価値を伝え、周遊の促進を図るため、周遊の起点となるJR百舌鳥駅前に総合案内板を設置したほか、寺山南山古墳では現況測量と基本設計を行い、整備に向けた取組を進めることができた。 これらの古墳の適切な保存管理と整備により、古墳群の継承と魅力の創出につながり、KPIの達成に寄与したと考える。										
	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）										
20	必要性	■ 高い □ 低い	所管古墳においては、高木の伐採により墳丘の毀損防止及び視認性向上を図り、古墳群の保全と価値の伝達に寄与した。 また、御廟表塚古墳では史跡整備及び解説リーフレットの作成により、保全と活用を行った。								
	有効性	■ 高い □ 低い	今後も、百舌鳥古墳群の継承と魅力の創出に向け、適切な維持管理および環境整備を推進する。								